

単元名：模擬ペア交流会とお助けマニュアル

科目名	韓国語	作成日	-	作成者	プロジェクトメンバー
学年／年次	-	クラス人数	-	使用教科書名(対応)	-
話題分野	ことば	言語レベル	1	必要時間数	6時間

I 単元目標

韓国の高校生との交流に備え、外国語学習について尋ねあう質問シートや交流会に役立つような「お助けマニュアル」を作成することができる。

	言語	文化	グローバル社会	学習者	教室外	他教科
わかる						
できる						
つながる						

言語領域	文化領域	グローバル社会領域
<ul style="list-style-type: none"> ◆世界の主な言語について10種類以上韓国語で言うことができる。 ◆どんな言語を学んでいるか、感想を含め、言ったり尋ねたりできる。 ◆学んでいる言語とその感想についての発表を聞いて、内容を理解することができる。 ◆質問シートとお助けマニュアルを作成したり、話し合いの結果を踏まえて改良することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆韓国の高校生の外国語学習の状況を知り、韓国の外国語教育の背景について考えることができる。 ★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆高校生の外国語学習の現状を知り、自分の韓国語学習を振り返ることができる。(知識理解) ◆日韓の高校生の外国語学習の状況を比較し、自分の韓国語学習の意味について問い直すことができる。(高度思考) ◆より良い交流会にするにはどうしたら良いか考え、グループで話し合うことができる。(協働、高度思考) ★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。

コミュニケーション能力指標	<p>【ことば】</p> <p>1-a. どんな言語を学んでいるか、言ったり尋ねたりできる。</p> <p>1-c. どこで学習対象言語(ほかの外国語)を学んでいるか、言ったり尋ねたりできる。</p> <p>1-d. 学習対象言語を学んでの簡単な感想(おもしろい/難しいなど)を、言いあうことができる。</p> <p>1-f. 相手の話すことがわかったかわからないかを、口頭で伝えることができる。</p> <p>1-g. 相手の話すことがわからないときに、聞きかえしたり、ゆっくり言ってもらおう頼んだりできる。</p> <p>【自分と身近な人びと】</p> <p>1-a. 名前(姓名)や属性(高校生、学年、年齢、誕生日など)を、言ったり尋ねたりできる。</p> <p>1-e. (自分やクラスメート、先生などの)名前を、ハングルで書いたり読んだりできる。</p>
	<p>オリジナル指標：聞き取った音や知っている単語をハングルでどう書くのか尋ね、書いてもらうことができる。</p> <p>★言語領域の「できる」の目標を設定する際に参照した指標。他の領域の目標設定とも連動している。数字は【言語レベル-指標表番号】を表示している。</p>

II 評価

学習を助けるための評価 (形成的評価)	目標達成度を測る全体的評価(総括的評価)
<ul style="list-style-type: none"> ◆学んでいる言語の名前や学んでいる場所、感想、学びたい言語とその理由などをインタビューする。(態度、声の大きさ、発音の正確さ) ◆アンケート結果をもとに、リスニングテストを行う。(正確さ、聞き取り量) ◆学びたい言語ベスト10の結果、アンケートの結果を発表する。(態度、声の大きさ、発音の正確さ、わかりやすさ) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆模擬ペア交流会でのロールプレイをする。(積極性、好感の持てる態度、やり取りの量、発音の正確さ) ◆お助けマニュアルを作成する。(情報量、ユニークさ) ◆質問シートを作成する。(表現の適切さ、情報量)

Ⅲ 学習活動		
プレコミュニケーション活動 (語彙・表現習得活動)	コミュニケーション活動 (学習シナリオ)	
<p>◆世界の主な言語について、韓国語でどう言うか学習した後、どんな言語を学んでみたいか、ペアまたはグループでたずね合う。クラスの友だちや家族にアンケートを取り、学びたい言語ベスト10を作成し、韓国語で発表する。【1-a】</p> <p>◆どんな言語を学んでいたり、学んだことがあるか、どこで学んだか、その感想などを、友人や家族、先生やクラブの先輩等にアンケートを取り、韓国語で発表する。【1-c,d】</p> <p>◆ペアを交代しながら、韓国語で自己紹介し合い、ことばの学習についてたずね合う。【1-a,c,d,f,g, オリジナル】</p> <p>★【 】内は対応するコミュニケーション能力指標</p>	<p><場面状況> C高校の韓国語クラスでは、韓国の高校生との交流会に備えて、模擬ペア交流会を行うことになった。</p> <p><活動の流れ> 何語を話すとか、何語を学習しているなど、ことばの学習に関する表現を学んだ後、韓国の高校では第2外国語の学習が必修であることを先生から教わり、どんな言語を学んでいるか、学校以外ならどこで学んでいるか、また、学んだ感想などを尋ねる質問シートをグループで作成する。質問シートの項目に沿って、ペアで尋ねたり答える練習をする。会話に困ったときにどのような表現が必要かを話し合い、「お助けマニュアル」を作成する。</p> <p>ペアを交代しながら、実際に韓国人生徒と日本人生徒の役に分かれて、模擬ペア交流会のロールプレイを行い、DVDに録画する。他のペアの発表やDVDを見て、より良い交流会を実現させるためにはどうしたら良いか話し合い、質問シートと「お助けマニュアル」を改良する。</p> <p>ヒント☞ ◆実際に韓国の高校生訪問団を受け入れたり、韓国の高校を訪問したりしてペア交流会を行う。</p>	
<p><使用教材・教具> 質問シート、アンケート用紙、デジカメ</p>		
表現と表現のポイント	語彙	文化・グローバル社会事象と事象のポイント
<p><表現> 안녕하세요? 저는 —입니다. 반갑습니다. /저는 학교에서 한국어를 배우고 있어요. /어느 나라 말을 배웠어요? /어느 나라 말을 배우고 싶어요? /어디서 배웠어요? /한국어는 재미있어요. /쉬워요. /어려워요. /한글이 재미있어요. /하지만 발음이 어려워요. /한국어·일본어로 뭐라고 해요? /한국어·일본어로 어떻게 써요? /여기에 써 주세요. /한글로·가타카나로 써 주세요. /알아요. /잘 몰라요. /다시 한번 말해 주세요. /천천히 말해 주세요. /괜찮아요. /잘 해요. /질문이 있어요.</p> <p><表現のポイント> —입니다. /—고 싶어요. /—라고·이라고 해요. /있어요·없어요. /어디서 /어느— /—는·은 /—에 /—에서 /—를·을 /—로·으로 /하지만</p>	<p>—입니다, 반갑습니다, 있어요·없어요, 재미있어요, 쉬워요, 어려워요, 써요, 써 주세요, 말해 주세요, 어느 나라, 어디서, 뭐, 말, 한글, 발음, 문법, 학교, 학원, 독학, 다시, 한번, 천천히, 여기, 하지만, 잘 해요, 괜찮아요, 알아요, 잘 몰라요, 반갑습니다, 한국어, 일본어, 중국어, 아라비아어, 영어, 프랑스어, 독일어, 러시아어</p>	<p><事象> ◆高校生の外国語学習 ◆習いたい外国語 ◆必須外国語と第2外国語</p> <p><事象のポイント> ◆日韓の高校生の外国語学習の状況を知り、共感できる部分・励みとなる部分は何か、考えてみる。</p>
教室外(人・モノ・情報)との連繋		他教科の内容との連繋
韓国の外国語教育、韓国の高校生		韓国語以外の外国語科目